

浜岡原子力発電所
保安検査における指標の収集結果
(平成29年度分)

本浜岡発第1号
平成30年 6月27日

原子力規制委員会 殿

愛知県名古屋市東区東新町1番地
中部電力株式会社
代表取締役社長
社長執行役員

勝野

「保安検査における指標の収集について(指示)」(平成28年4月13日付け原規発第1604135号)に基づき、浜岡原子力発電所 保安検査における指標の収集結果(平成29年度分)を次のとおり提出します。

浜岡原子力発電所 保安検査における指標の収集結果

中部電力株式会社

No.	分類	指標	収集データ	平成28年度	平成29年度	備考
1	作業計画	安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対応設備及び多様性拡張設備に対して計画された保守作業以外の保守作業件数及び完了済みの保守作業件数	安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対応設備及び多様性拡張設備に対して、保全計画で定められた定期的に実施するもの以外で突発的に実施する改造・修繕工事の回数(運転中および定期検査中に不具合等を発見し急遽改造、修繕工事を行った件数)。	208件	288件	
2		安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対応設備及び多様性拡張設備に対して作業期間に係る計画変更を複数回行った件数	安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対応設備及び多様性拡張設備に対して、保全計画で定められた定期的に実施するもの以外で突発的に実施する改造・修繕工事(運転中および定期検査中に不具合等を発見し急遽改造、修繕工事)で、実施計画時に設定した作業期間を2回以上変更した件数。	7件	12件	
3		手続書を変更して実施した作業件数	安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対応設備及び多様性拡張設備に対して、保全計画で定められた定期的に実施するもの以外で突発的に実施する改造・修繕工事の件数(運転中および定期検査中に不具合等を発見し急遽改造、修繕工事を行った件数)のうちの暫定的改造工事件数。	89件	120件	
4	訓練	訓練の種類別の合計実施回数・合計訓練時間・合計参加人数	①原典法に基づく総合訓練および要素訓練の回数・人数 ②①の訓練評価に係るコメント数(訓練報告書に記載するコメント数) ③SA成立性確認訓練(運転員を含む緊急安全対策要員対象)の回数・人数 ④③に関する合否実績	①-1総合訓練 1回 717人 ①-2要素訓練 898回 6316人 ② 8件 ③ - ④ -	①-1総合訓練 2回 1234人 ①-2要素訓練 386回 2730人 ② 17件 ③ - ④ -	⑤SA成立性確認訓練実施後に収集する
5	リスク	定検期間中のΔCDF(炉心損傷確率の変化)の最大値	リスクモニタによる、再稼働後の定期検査期間中のCDF(炉心損傷確率)の評価結果のうち ①取組むべき措置	① - ② -	① - ② -	再稼働後に収集する
6	置報	制御室置報表示の点灯件数(予期せぬ置報に限る)	①燃料が原子炉にある際に計測外の「自動スクラム」置報が発生した回数、スクラムにはハーフスクラム(5号の場合は1区動動作の場合)の置報も含む。 ②「置報検査から発生された置報」の置報発生回数。 ただし、予期せぬ置報に限る	① - ② 13回	① - ② 44回	③燃料を装荷後に収集する(平成29年度は原子炉内に燃料を装荷していない)
7	安全文化	安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果	安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果 (安全文化総合評価票の結果所見の記載事項を引用)	取組み要請事項 2件 要請がらむたい取組み 3件	取組み要請事項 2件 要請がらむたい取組み 2件	
8	不適合関連	不適合発生件数	グレード別(クラスA、B1、B2)の不適合発生件数	クラスA 4件 クラスB1 106件 クラスB2 621件	クラスA 5件 クラスB1 121件 クラスB2 697件	
9		不適合の処置が完了するまでの平均期間	不適合(クラスA、B1、B2)のうち、年度末時点で処置が未完了となっている件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再稼働後に処置すべきとしているものは除く。	クラスA 8件 クラスB1 50件 クラスB2 187件	クラスA 7件 クラスB1 58件 クラスB2 250件	
10		不適合の再発件数	クラスA、B1の不適合で再発した件数	0件	7件	
11		不適合のうち安全上重要な設備 ^{※1} に関する件数	クラスA、B1の不適合のうち、安全上重要な設備 ^{※1} に関する件数	14件	41件	
12		ヒューマンエラーに起因する不適合件数	ヒューマンエラーに起因する不適合件数(クラスA、B1)	72件	65件	
13		不適合のうち水平風間が必要と判断した件数、完了するまでの期間及び完了件数	クラスA、B1の不適合のうち、 ①年度内に発生した不適合のうち水平風間が必要な件数 ②年度末時点で水平風間が未完了となっている不適合の件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再稼働後に水平風間すべきとしているものは除く。	① 48件 ② 14件	① 53件 ② 18件	
14	RCA	根本原因分析を要する事象件数と直接原因分析を要する事象件数	根本原因分析を要する事象件数と直接原因分析を要する事象件数	根本原因分析 1件 直接原因分析 110件	根本原因分析 2件 直接原因分析 126件	
15		集積根本原因分析 ^{※2} を要する事象件数	集積根本原因分析を要する事象件数	0件	0件	
16	内部監査	内部監査の実施回数	内部監査の実施回数	5回	4回	
17		内部監査の指摘事項件数	内部監査の指摘事項件数	0件	7件	
18		内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	内部監査の指摘事項のうち年度末時点で処置が未完了となっている件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再稼働後に処置すべきとしているものは除く。	0件	8件	

No.	分類	指標	収集データ	平成28年度	平成29年度	備考
19	内部監査	内部監査の指摘事項の処置期限の達成割合	内部監査の指摘事項の処置期限の達成割合	100%	100%	
20		内部監査による指摘事項の再発件数	内部監査による指摘事項の再発件数	0件	0件	
21		マネジメントレビューの実施回数	マネジメントレビューの実施回数	1回	1回	
22		マネジメントレビューによる指示事項と未完了件数	①マネジメントレビューにおける指示事項件数 ②①のうち年度末時点で未完了の件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	① 2件 ② 0件	① 3件 ② 0件	
23		マネジメントレビューによる再指示件数	マネジメントレビューによる再指示件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	0件	0件	
24		発電所長レビューによる指示事項と未完了件数	①発電所長レビューにおける指示事項件数 ②①のうち年度末時点で未完了の件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	① 4件 ② 0件	① 6件 ② 0件	
25	発電所長レビューによる再指示件数	発電所長レビューによる再指示件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	0件	0件		
26	外部からの指摘	外部機関によるレビューの実施回数	OSARTIによるレビューの実施回数	-	-	OSARTIによるレビュー実施後に取組 (19年度はOSARTIによるレビューはなし。以下同様。)
27		外部機関からの指摘事項件数	OSARTIにおける指摘事項件数	-	-	
28		外部機関の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	OSARTIにおける指摘事項のうち年度末時点で処置が未完了の件数(過年度からの繰越し案件を含む)。なお、再発後に処置すべきとしたものは除く。	-	-	
29		外部機関の指摘事項の処置期限の達成割合	OSARTIにおける指摘事項の処置期限の達成割合	-	-	
30		外部機関による指摘事項の再発件数	OSARTIによる指摘事項の再発件数。ただし継続案件の計上については個別の案件毎に判断する。	-	-	

※1 発電用柱水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針で定められているクラス1、クラス2、クラス3に属する構造物、系統及び機器

※2 複数の類似事象から共通的な問題を抽出し解決するRCA(根本原因分析)